

ACPの共有することの重要性

Aさんは60代の女性患者でがんの再発のため化学療法を実施していた。しかし、水腎症による腎機能悪化により化学療法は中止となった。両下腿に浮腫があり、自宅療養が困難なため即日入院となつた。水腎症に対し泌尿器科を受診し、翌日に腎瘻造設が行われた。永久腎瘻となるため、腎瘻の指導を本人・家族へ行う方針となり、私は担当看護師として、Aさんと家族を含めた指導計画を立案することになった。排液の仕方や刺入部の観察、テープ交換などを本人と家族に実際にみてもらい、パンフレットに沿いながら説明を行った。その際に、次男の嫁より「できるか心配。

正直、私だけがお義母さんの介護をしなければならない義理も恩もありません」と、一人になったタイミングで涙を流し吐露された。次男の嫁は次男と結婚して2年であり、病状が悪くなっているが今まで通り自由に動くAさんや、協力の得られない長男・長女を快く思えない気持ちがあった。しかし、医師からの説明を聞いた時に、涙を流す次男のために腎瘻管理や自宅療養に協力したいと思っていた。私はこのままでは次男の嫁に負担が大きくなってしまうこと、家族への腎瘻指導が家族関係の悪化につながるのではないかと考えた。また、下肢浮腫や腹部の癌性疼痛に対し緩和ケアチームが介入しており、AさんのACPを実施するタイミングなのではないかとチームから意見があった。



私は、ACPのタイミングについて、AさんのようにADLが自立している患者ではなく、病状が急激に悪くなり、最期の時を考えなくてはいけない終末期の患者が実施するものであると思っていた。しかし、先輩看護師より、ACPは状態が悪くなっている時だけでなく、良くなっている時や環境が変わるためにも行うことが重要であると助言があった。私は実際にACPを行い、Aさんから「子どもたちが協力してくれるし、次男の嫁さんも協力して動いてくれているからありがたいと思っている。できがあるならやりたい気持ちはあるし、抗癌剤治療も先生が提案してくれるならやりたいと思っています。でも延命治療はやりたくない。痛みや苦しみがないのが一番理想です。それに家族と過ごすこと



ができたらしいかな」という言葉を聞くことができた。私は、Aさんの腎瘻に対する自己管理への意欲があることや、次男の嫁の介護負担を軽減するために、家族みんなで指導を受けることが必要だと考えた。そして、ACPを家族と共有し、聞いた内容を活かしながら腎瘻の指導計画を練り直した。

Aさんには、排液方法やレッグバッグの装着の仕方を指導し、毎日実施する時間を設けた。家族への指導時には、次男の嫁を中心長男・長女が来棟できる日時の調整を行った。長女が面会に来棟した時には、患者の日中の様子を伝え、指導状況を家族で共有できるように説明した。その結果、Aさんは「おんぶに抱っこじゃだめだと思って練習しました。家でもできそうです」と話してくれた。家族も腎瘻指導に参加し、次男の嫁も「これならできそうです。ACPを他の家族に共有してくれたことも嬉しかったです」と話された。これらの発言より、Aさんの腎瘻の自己管理に対する意欲の向上と家族の介護負担の軽減へつなげることができ、自宅で家族と過ごしたいという願いを叶えることができた。そして、指導を通して家族関係の構築にも関わることができたと感じた。

また、Aさんは腹部の癌性疼痛に対し専用で鎮痛剤を内服していたが、除痛できず夜間の入眠もあまりできていなかった。回診の際に、緩和ケアチームへ相談し、緩和ケアの医師より「医療用麻薬」を内服してみてはどうかとAさんへ提案があった。しかし、Aさんは「麻薬」という言葉に抵抗があり悩まれていた。私は、ACPでAさんが主治医のことを信頼していると話していたことを思い出し、主治医へ報告し、再度提案していただくことになった。すると、Aさんは「医療用麻薬」の使用について

納得され、疼痛時は医療用麻薬の内服で除痛ができ、夜間の入眠へとつなげることができていた。その後、廊下でたまたま会ったAさんより「看護師さんやいろんな人が自分のために動いてくれているから前向きに考えることができたよ。あなたにはお世話になったね、ありがとう」と感謝の言葉をかけてもらうことができた。

今回の事例を通して、ACPは終末期患者だけでなく、環境や病状の変化がある患者にも行う必要があることを学んだ。そして、ACPを家族や医療従事者と共有することによって患者・家族にとっての価値観や、これからの方針について考えることができ、医療者はチームの一員として患者のニーズに応えることができるのだと感じた。今後、ACPのプロセスを進める中で、今回のように患者の意思と家族の感情が対立する場合もあるかもしれないが、その時には医療従事者として双方の気持ちの傾聴、共感しながら、患者・家族の意思決定支援を行っていきたい。

